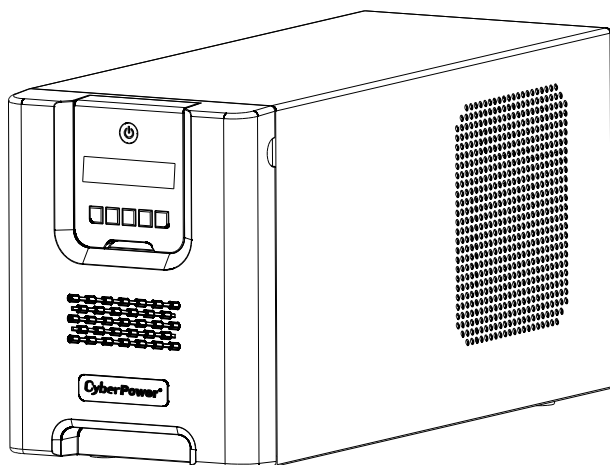


# CyberPower®

## Smart App UPS Tower Series

型番: PR1000/1500 JP

取扱説明書



K01-0000236-03

# ユーザーズマニュアル

## 目次

1 はじめに	3
2 重要な安全上のご注意	4
3 製品紹介	11
4 接続	25
5 運転	34
6 バッテリー交換	36
7 故障かな？と思ったら	37
8 仕様	40
9 省エネルギー技術 GreenPower UPS™ & Active PFC 対応	41
10 保証規定	42
11 保証書	45

## 1 はじめに

この度は、弊社 UPS(無停電電源装置)をお買い上げ頂き、誠に有難う御座います。  
このマニュアルでは、CyberPower UPS(無停電電源装置)の、安全上の注意事項、  
機能及び操作方法を紹介しています。

本装置を使用する前に必ずこのマニュアルをお読み下さい。

又、読み終わった後も、必要な時にすぐ読むことができるように大切に保管して下さい。

### 2019 年 2 月 第 1 版

- 本書の内容は、予告無しに変更される場合があります。
- 本書の内容の一部又は全部を、無断で複写や転写しないで下さい。
- 本書の中で使用している画像の一部は実際の製品と異なる場合が御座いますが、  
機能的な違いは御座いません。
- 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、誤りやお気付きの点、御不明な点  
が御有りでしたら、弊社までご連絡下さい。
- 本書に書かれた注意事項を守らずに使用された場合、弊社は責任を負いかねます。
- 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益については、弊社は責任を負いかねます。

株式会社サイバーパワー・ジャパン





## 2 重要な安全上のご注意

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、本装置をご使用頂く前に必ず以下の注意事項を熟読し、正しくお使い下さい。



このマニュアルでは、数種類のマークを使用しており、それぞれの意味は下記の通りです。

内容をよく御理解頂いた上で、本マニュアルをお読み下さい。

### マークの説明

 危険	誤った取り扱いをした場合、死亡したり、重傷を負う危険性があります。
 警告	誤った取り扱いをした場合、負傷や物的損害を蒙る危険性があります。
 禁止	安全のために絶対にしてはいけない「禁止」の内容です。
 強制	安全のために必ずしなければならない「強制」の内容です。

### 基本注意事項

 禁止	
	<p>本装置は一般家庭、一般事務室におけるコンピュータの周辺機器としての使用を前提に開発されたものです。次のような用途では絶対に使用しないで下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 全ての医療機器や、生命に関わるような機器等への使用。</li><li>・ 人身の損傷に至る可能性のある交通機関、エレベーター等への使用。</li><li>・ 社会的・公共的に重要なコンピュータシステム等への使用。</li><li>・ レーザープリンタ、シュレッダーなどの大型電気製品や工作機械等への使用。</li><li>・ これらに準ずる装置等への使用。</li></ul>

## 基本注意事項

### 危険

- 感電の恐れがありますので、本装置のカバーは取り外さないで下さい。  
本装置の中に、ユーザーが使用可能な部品は入っていません。
- 入力プラグが抜けている状態でも、本装置内部の危険な帯電部が、  
バッテリーにより通電されていることがあります。
- 本装置は、ヒューズ又はブレーカーにより保護された壁面コンセントに接続して下さい。
- 感電を避けるため、コンピュータを接続する前に本装置の電源を切り、壁面コンセントから入力プラグを抜いて下さい。

## 設置に関する注意事項

### 警告

- 本装置は前後及び左右に 10cm 以上の空間を設けて設置して下さい。
- 本装置の通風口は塞がないで下さい。
- 本装置の上に物を載せないで下さい。
- 本装置を、火や火花が発生する恐れのあるものに近付けしないで下さい。  
爆発したり、破裂したりする危険があります。
- 火災や感電を防止するため、温度・湿度制御された室内の、導電性物質を避けた  
場所に設置して下さい。  
使用環境温度・湿度は、使用欄に記載された許容範囲を参照して下さい。
- 仕様欄に記載された使用環境温度・湿度の許容範囲から外れた場所、直射日光  
やストーブ等の熱源から熱を直接受ける場所、屋外や乗り物など振動や衝撃が加  
わる恐れのある場所、可燃性ガスや腐食性ガス、塩分などがある場所では使用しな  
いで下さい。

## 設置に関する注意事項

### ⚠ 警告

- 花瓶や水槽等、水の入った容器を、本装置の近くに置かないで下さい。結露などによる感電や火災を起こす恐れがあります。
- 本装置をほこりの多い場所に設置しないで下さい。ほこりがたまり、感電や火災を起こす恐れがあります。
- 延長用の電源ケーブルや、たこあし配線となるアダプタは使用しないで下さい。

## 使用上の注意事項

### ⚠ 危険

- 使用の前にケーブルやプラグ、出力コンセント、壁面コンセントに破損のないことを確認して下さい。
- ケーブルやプラグ、コンセントの接続が不完全なまま使用しないで下さい。ショートや発熱により感電や火災の危険性があります。
- 本装置から異常な音や異常な臭い等、何らかの異常を感じたときはすぐに停止し、本装置の電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いて下さい。
- 感電の危険性がありますので、通風口や出力コンセントなどに棒や指などを入れしないで下さい。
- 入力プラグは絶対に出カコンセントに差し込まないで下さい。電流の還流によるアークが発生し、火傷や視覚障害等を蒙る恐れがあります。
- 本装置が運転している状態で入力プラグを抜かないで下さい。
- 本装置の移動は必ず本装置の電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いた状態で行って下さい。
- 本装置は内部にバッテリーを搭載しています。入力プラグが壁面コンセントに接続されていない場合でも、裏面コンセントから出力されていることがあります。

## 本装置に関する注意事項

### ⚠ 警告

- 本装置はコンピュータの周辺機器として設計されています。
- 接続する機器の消費電力の合計が、仕様欄に記載された容量を超えないようにして下さい。
- トランスやインダクタなど巻線類の負荷には適合していません。
- シーケンサなどの工作機械やレーザープリンタ、シュレッダー、複写機、室内暖房器、電気掃除機、排水ポンプ、その他大型電気製品を接続しないで下さい。
- 本装置には寿命があります。寿命が来たら新しい UPS を購入し、交換して下さい。寿命を過ぎた UPS は火災の原因になることがあります。  
本体寿命目安 9～12 年(環境温度/湿度/ほこり/充放電の頻度による)

## バッテリーに関する注意事項

### ⚠ 危険

- バッテリーは必ず定期的に交換して下さい。
- 寿命を過ぎたバッテリーは液漏れする場合があります。発煙や火災の原因となる恐れがあります。
- バッテリーから液漏れや異臭、発煙など異常が発生した時は、バッテリーに触れないで下さい。
- バッテリーの液が皮膚に付着したり、目に入った場合はすぐに流水で洗浄して、医師に相談して下さい。
- バッテリーの寿命は使用温度条件や負荷容量、充放電回数などによって大きく変化します。
- バッテリーを火の中に入れて下さい。また、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないで下さい。

## バッテリーに関する注意事項

### 危険

- バッテリーを交換する際は、必ず本装置の電源を切り、本装置に接続している全ての機器を外し、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態で行って下さい。
- 本装置のバッテリー運転中は、バッテリーを装置から取り外さないで下さい。
- バッテリーを取り扱う際に、感電や火傷を負う恐れがあります。バッテリーの交換を行う時は時計、指輪、ネックレス又はその他の金属物を体から全て外し、絶縁された工具を使用して作業を行って下さい。
- バッテリーの周辺に工具や部品などの金属物を置かないで下さい。バッテリーのコネクタが金属物に触れると装置の故障だけでなく、感電や火傷を負う恐れがあります。
- バッテリーの交換は、指定された型番のバッテリーを使用して下さい。
- バッテリーの配線やコネクタは絶対に交換しないで下さい。
- バッテリーは使用しなくても自然放電しますので、3ヶ月ごとに24時間のバッテリー充電をして下さい。バッテリー充電をしないとバッテリーが使用出来なくなります。

## バッテリーのリサイクルについて

- 本装置には鉛蓄電池を使用しております。鉛蓄電池は、リサイクル可能な、貴重な資源です。バッテリーの交換及び使用済み製品の廃棄を行う際には、鉛蓄電池のリサイクルにご協力下さい。
  - ・ 本装置のバッテリーは「廃棄物および清掃に関する法律」において「特別管理産業廃棄物」に指定されています。ルールを無視してバッテリーを廃棄することは違法です。
  - ・ 使用済みバッテリーの廃棄については  
バッテリー購入先または各自治体にお問い合わせ下さい。



## 保守・点検に関する注意事項

### 危険

- 本装置の分解、修理、改造等は絶対にしないで下さい。分解、修理、改造等を行うと正常に動作しなくなるばかりではなく、感電や火災の原因となることがあります。
- 本装置の分解、修理、改造等を行った場合、または分解、修理、改造等を行ったと判断された場合は保証期間内であっても一切の修理、サポートをお断りします。
- 本装置のお手入れの際は感電する恐れがありますので、本装置の電源を切り、本装置に接続されている全ての機器を外し、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態で行って下さい。
- 本装置はバッテリーを搭載しているため、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態でも装置内部に危険な電圧が加わっている部分があります。絶対に装置内部には触れないで下さい。
- 濡れた手で本装置を触ったりプラグの抜き差しをしないで下さい。感電の恐れがあります。
- 雷が発生した場合、接続された機器やケーブル類も含めて本装置に触れないで下さい。感電の恐れがあります。

### 警告

- 本装置をより長く使用するために各種 LED やケーブルに異常がないか、定期的に点検して下さい。
- 設置されている部屋の温度や湿度を定期的に点検して下さい。

## 保守・点検に関する注意事項

### 警告

- 本装置のお手入れの際は、乾いたきれいな布で拭いて下さい。  
水を含んだ布やぞうきんは使用しないで下さい。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や化学ぞうきんは絶対に使用しないで下さい。

## 装置の保管について

### 強制

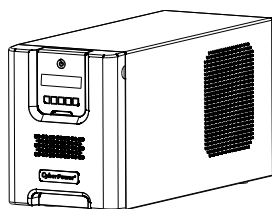
- 乾燥した温度の低いところに保管して下さい。
- 直射日光の当たる場所や熱源の近く、40°Cを超える場所では保管しないで下さい。
- バッテリーは保管中でも劣化しますのでご注意下さい。
- 本装置の使用を再開する前には、必ず十分に充電をして下さい。

### 3 製品紹介

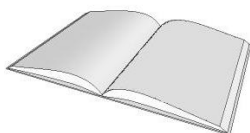
#### セット内容の確認

梱包箱を開けてセット内容を確認して下さい。梱包箱には以下のものが含まれています。不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店または弊社にご連絡下さい。

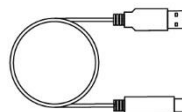
UPS 本体	1 台
取扱説明書	1 冊
USB ケーブル	1 本
緊急電源切断(EPO)ケーブル	1 本
シリアルケーブル	1 本
3P→2P 入力プラグ変換アダプタ	1 個



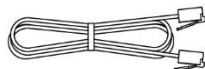
UPS 本体



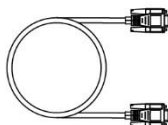
取扱説明書



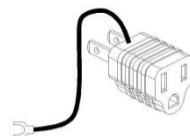
USB ケーブル



緊急電源切断(EPO)  
ケーブル



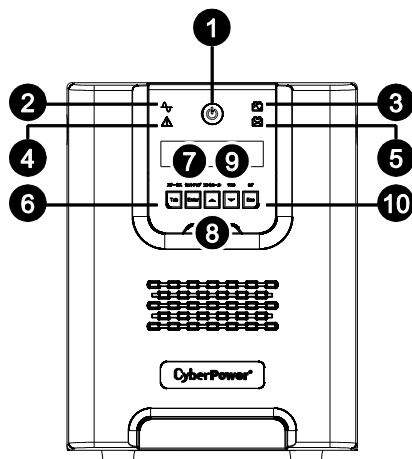
シリアルケーブル



3P→2P 入力プラグ  
変換アダプタ

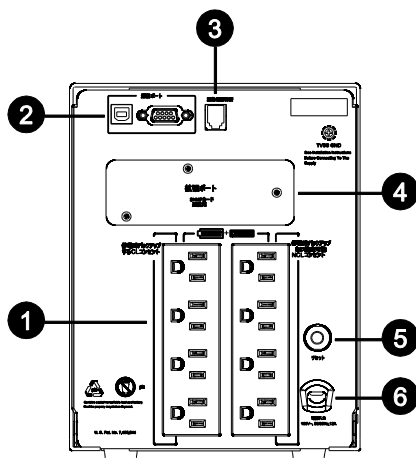
## 各部の名称

### フロントパネル

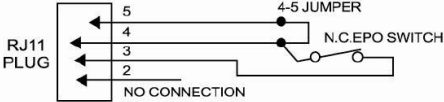
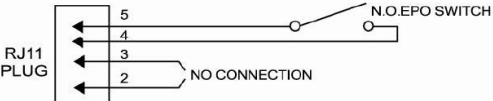


No.	名称	機能
1	電源スイッチ	電源ボタンを押すことで UPS をオン(運転)、オフ(停止)にします。
2	商用電源 LED	本 LED は電源が正常状態の時に点灯します。
3	バッテリーモード LED	激しい電圧低下や停電が起きると、この LED が点灯し、警告音が鳴り (2 回短いビープ音)、UPS が内蔵バッテリーで作動していることを表示します。
4	障害 LED	UPS に障害が発生するとこの LED が点灯します。
5	バッテリー交換 LED	バッテリーの交換が必要になると、この LED が点灯して通知します。
6	Tab/ステータスボタン	「機能セットアップガイド」をご覧ください。
7	Enter/セットアップボタン	「機能セットアップガイド」をご覧ください。
8	▲/コントロールボタン	「機能セットアップガイド」をご覧ください。
9	▼/テストボタン	「機能セットアップガイド」をご覧ください。
10	Esc/ログボタン	「機能セットアップガイド」をご覧ください。

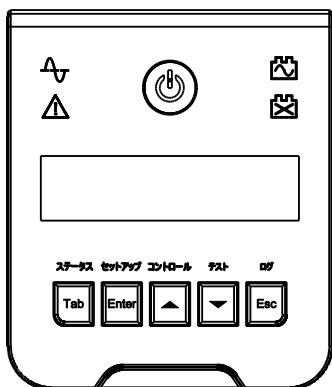
## バックパネル



No.	名称	機能
1	サージ保護付 バックアップコンセント (停電時バックアップする)	<p>8 口のバッテリーバックアップ及びサージ保護コンセントです。通常時及び停電時に接続機器に電力を供給します。(レーザープリンタ、シュレッダー、複写機、室内暖房器、電気掃除機、排水ポンプ、その他大型電気製品を接続しないで下さい。過大な消費電力により、UPS が過負荷状態となり、UPS 本体及び接続機器に損害を与える場合があります。)</p> <p>左出力口 x4: 停電時出力する CL コンセント: 重要な接続機器(例、パソコン、サーバー、モニター等)のためのコンセント</p> <p>右出力口 x4: 停電時出力しない設定が可能な NCL コンセント: 停電時出力を無くし、左四つに差し込まれる機器のみをバックアップする設定が可能です。設定しない場合、左出力口と同じように出します。</p>

No.	名称	機能
2	USB ポートとシリアル (DB-9) ポート	<p>コンピュータと UPS 上の USB 又はシリアル (DB-9) ポート間の接続、通信を行います。</p> <p>注意： 一度に使用できる通信ポートは USB ポートまたはシリアル (DB-9) ポートのどちらか 1 つだけです。</p>
3	EPO (緊急電源切断) ポート	<p>付属の EPO ケーブルを使用して EPO ポートに接続します。下の回路図を見て、希望の EPO 設定に合わせてケーブルを配線してください。EPO リモートスイッチ (付属していません) は、外側に取り付けられるスイッチで、緊急電源切断 (EPO) ケーブルを介して本器に接続されます。非常時には、UPS の緊急電源切断機能として使用できません。</p> <p><b>OPTION 1: USER SUPPLIED NORMALLY CLOSED SWITCH</b></p>  <p><b>OPTION 2: USER SUPPLIED NORMALLY OPEN SWITCH</b></p> 
4	SNMP/HTTP 通信用ポート	保護板を取り外し、オプションの RMCARD を取り付けると、ネットワークを介して UPS の遠隔監視/管理が可能です。
5	リセットボタン	押すとリセットになります。
6	AC 入力電源コード	本体への入力電源コード

## 機能セットアップガイド



### 電源オン:

- (1) 電源ボタンを長押しし、“ピーピーツ”という音が鳴ったら、ボタンから指を離して下さい。本体電源がオンになります。
- (2) 電源ボタンを短く1回押すと、UPS オン/オフの画面が出ます。Enter を押せばオンになります。

### 電源オフ:

- (1) 電源ボタンを長押しし、“ピーピーツ”という音が鳴ったら、ボタンから指を離して下さい。本体電源がオフになります。
- (2) 電源ボタンを短く1回押すと、UPS オン/オフの画面が出ます。Enter を押せばオフになります。

**Tab:** ボタンを短く押すと、ステータス/セットアップ/コントロール/テスト/ログの各メニューを切り替えることができます。

**Enter:** 非設定の場合に押すと設定モードに入ります。設定モードの場合に押すと決定になります。

**▲/▼:** 現在の項目の数値の上げ下げ等を行います。

**Esc:** ボタンを短く押すと、設定中の場合は設定モードから離れ、非設定中の場合は、今のメニュー表示が暫く現れます。

### \*設定モード: カーサー点滅

五つのボタンは非設定モード時に一秒以上押すと、各ボタンの上に見えるメニューの最初の項目に入ります。

機能	選択肢	初期設定	説明
<b>セットアップメニュー</b>			
セットアップウィザード?	イイエ ハイ	イイエ	このウィザードを使うと、UPS の基本的な機能（言語、LCD オートスリープ、警告音、感度）をステップバイステップで設定することができます。
ゲンゴ	エイゴ ニホンゴ	ニホンゴ	日本語又は英語表示を選択できます。
サイショウシュツリョクデンアツ	85~91V	85V	設定値は保障最小出力電圧です。低電圧が頻発する場合、小さい値で設定して下さい。
サイダイシュツリョクデンアツ	109~115V	115V	設定値は保障最大出力電圧です。高電圧が頻発する場合、大きい値で設定して下さい。
LCD オートスリープ	ジッコウシナイ 1 プンゴショウトウ 5 フンゴショウトウ 10 プンゴショウトウ	ジッコウシナイ	1/5/10 分後実行を選択すると、1/5/10 分間何の動作もしなかった場合、LCD ディスプレイが消灯します。
スキャン	ジッコウシナイ 10 ビョウゴ 20 ビョウゴ 30 ビョウゴ	ジッコウシナイ	10/20/30 秒後を選択すると、10/20/30 秒後スキャンモードになります。



機能	選択肢	初期設定	説明
<b>セットアップメニュー</b>			
ケイコクオン	ユウコウ ムコウ	ユウコウ	警告音の有効/無効が選択できます。
イチジテキミュート* * UPS がバッテリーモードでアラームがオンのときに表示されます。	ユウコウ ムコウ	ムコウ	バッテリーモード時に選択可能になります。選択すると、アラームをミュートすることができます。
カンド	コウ チュウ テイ	チュウ	商用電源の電圧変動時に、バッテリーモードへ切り替わる閾値の幅を選択できます。  感度高(バッテリーモードへ移行しやすい) 感度中(普通) 感度低(移行しにくい)
チャージモード	クイックチャージ エコチャージ	エコチャージ	緊急充電以外はエコチャージがおすすめです。
バッテリーティデンアツ ケイコク	0~1800s	300s	選択された値より、バッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。

機能	選択肢	初期設定	説明
<b>セットアップメニュー</b>			
ジドウジコテスト	ジッコウシナイ タチアガリノミ キドウジ+3 カゲツゴト キドウジ+6 カゲツゴト キドウジ+9 カゲツゴト キドウジ+12 カゲツゴト 3 カゲツゴト 6 カゲツゴト 9 カゲツゴト 12 カゲツゴト	ジッコウシナイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジッコウシナイ: 自己テストは実行されません。</li> <li>● タチアガリノミ: 自動自己テストは、UPS の立ち上がり時に実行されます。</li> <li>● キドウジ+〇カゲツゴト: 自動自己テストは、UPS のスタートアップ時と〇か月毎に実行されます。</li> <li>● 〇カゲツゴト: 自動自己テストは、〇か月毎に実行されます。</li> </ul>
ニチジ	年/月/日 時:分	----/--/-- --:--	年/月/日、時:分を設定します。
バッテリーサイゴコウカンピ	月: Jan/Feb/Mar/ Apr/May/June/Jul/ Aug/Sep/Oct/Nov/ Dec 年: 2000~2099	---/----	バッテリー寿命が来たら、バッテリーコウカンジキのメッセージが液晶に出ます。バッテリー交換後、バッテリーサイゴコウカンピを入力すると、交換メッセージが消えます。

機能	選択肢	初期設定	説明
<b>セットアップメニュー</b>			
パワーメーターリセット？	イイエ ハイ	イイエ	ステータスメニューの負荷累積 kWh の値をリセットできます。
ショックセッテイニモドス？	イイエ ハイ	イイエ	UPS を初期設定に戻すことができます。戻すと、表示言語の選択が要求されます。
デレイオン	0～600s	0s	再起動開始前の UPS の待ち時間を設定することができます。
デレイオフ	0～600s	0s	シャットダウン開始前の UPS の待ち時間を設定することができます。
リブートジカン	4～300s	4s	再スタート前に UPS がオフになっている時間を設定することができます。
サイショウフッキヨウリョウ	0～100%	0%	最小復帰容量は、商用電源の復帰時における UPS 自動再スタート機能の基準を表しています。バッテリー容量が最小復帰容量よりも大きい場合、UPS は自動的に再スタートします。
バッテリーメンテナンスジカン	ムコウ ユウコウ > 5～1800s	ムコウ ユウコウの初期 設定値は 180s	UPS のバッテリー運転時間を 5～1800s の間で設定出来ます。

機能	選択肢	初期設定	説明
<b>セットアップメニュー</b>			
バッテリーウンテンノコリジカン	ムコウ ユウコウ > 0~1800s	ムコウ ユウコウの初期 設定値は 0s	UPS のバッテリー運転残り時間を 0 ~1800s の間で設定出来ます。
NCL セッテイコンセント	ディレイオン ディレイオフ リポートジカン サイショウフッキヨウリョウ バッテリーウンテンジカン バッテリーウンテンノコリジカ ンカフカデ NCL コンセント オフ	0s 0s 4s 0% ムコウ ムコウ ムコウ	NCL コンセントの各種設定です。 “カフカデ NCL コンセントオフ”を有効にすると、過負荷の際、NCL コンセントからの出力はなくなります。
<b>コントロールメニュー</b>			
UPS オン/オフ	(UPS がオフの場合) オン ディレイオン (UPS がオンの場合) オフ ディレイオフ リポート ディレイ リポート	対象外	UPS のオン/オフモードは六種類から選択できます。

機能	選択肢	初期設定	説明
<b>コントロールメニュー</b>			
NCL オン/オフ	(UPS オン、NCL セッテイ コンセントオフの場合) オン ディレイオン	対象外	起動時、シャットダウン時 リポート時の、NCL コンセント接続 機器への給電停止を有効又は無 効にします。
	(UPS オン、NCL セッテイ コンセントオンの場合) オフ ディレイオフ リポート ディレイリポート	対象外	
<b>テストメニュー</b>			
ジコテスト?	イイエ ハイ	イイエ	「はい」を選択すると、UPS の起動 時に、自動的に自己テストが実行 されます。
アラームテスト?	テストキャンセル タンジカンテスト レンゾクテスト	テストキャンセル	アラームの警告音と LED/LCD が 正常に動作するかをテストします。

機能	選択肢	初期設定	説明
テストメニュー			
バッテリーコウセイ？	イイエ ハイ	イイエ	正常時の表示例 シンコウチュウ シュウリョウ 異常時の表示例 Fail: フカ < 20% Fail: フカヘンドウ Fail: バッテリロー Fail: デンゲンイジョウ Fail: チャージ < 8h 以上五つの Fail メッセージが現れた 場合、バッテリーに何らかの異常が存 在します。

## エラー表示内容

LCD コントロールパネル上エラー表示内容

1 段目:FXX(XX は数字) XX 月 XX 日 XX 時 XX 分

2 段目:エラー名

FXX: 過去 10 回分までログとして記録し、最新エラー情報に随時更新

XX 月 XX 日 XX 時 XX 分:エラーが発生した日時を表示

エラー名:6. エラー一覧中 10 種類の中から、発生したエラーの種類を表示

エラーログ確認方法

液晶下部の▼ボタンを押し、ログの確認が可能

## エラー一覧

エラー名	症状及び対策
カフカ	接続機器の消費電力が、UPS 容量を超えています。接続機器を減らして下さい。
シュツリョクタンラク	ショートが発生しています。UPS をシャットダウンし、サイバーパワー・ジャパンにご連絡下さい。
カジュウデン	充電器に異常が発生しています。サイバーパワー・ジャパンにご連絡下さい。
カネツ	UPS が過熱しています。UPS をシャットダウンし、サイバーパワー・ジャパンにご連絡下さい。
ハイセンフリョウ	配線に異常があります。サイバーパワー・ジャパンにご連絡下さい。

## エラー一覧

エラー名	症状及び対策
デンチテイデンアツ オフ	バッテリー低電圧により、UPS がシャットダウンしました。十分な充電時間(8 時間)を取った後、再起動して下さい。
バッテリーハウデンホリ ユオフ	設定したバッテリー残量を確保した上でシャットダウンを行うことが出来ず、UPS がシャットダウンしました。 接続機器を減らすか、シャットダウン時のバッテリー残量設定を変更して下さい。
キンキュウシャットダ ウン	EPO ポートにより、緊急シャットダウンしました。 安全確認後、UPS を再起動して下さい。
ジュウデンフカ	充電出来ません。サイバーパワー・ジャパンにご連絡下さい。
AVR イジョウ	AVR(自動電圧調整機能)に異常が発生しました。 サイバーパワー・ジャパンにご連絡下さい。

### ご連絡先

(株)サイバーパワー・ジャパン

サポート係

Tel: 03-5357-1389

Fax: 03-5357-1390

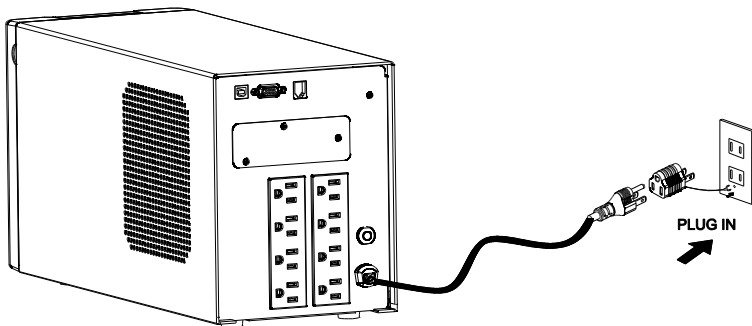
E-mail: [jp.support@cyberpower.com](mailto:jp.support@cyberpower.com)



## 4 接続

### 1 充電をします

UPS は開梱後すぐに使用することが可能ですが、バッテリーをフルに充電するために、使用前少なくとも 8 時間以上の充電を推奨します。工場出荷時には満充電状態ですが、輸送や保管の間にバッテリーが自然放電する場合があります。満充電での運用を行うために、念の為、最初に充電してから御使用下さい。バッテリーを充電するには UPS をアースのある 2 極 3 線式コンセント(家庭用アースなしのコンセントでも OK)に接続します。同じ電源系統に、消費電力の大きな機器(空調機、冷蔵庫、複写機など)が接続されていないことを確認して下さい。



### 2 UPS の出力コンセントに機器をつなぎます

UPS の電源をオフにして入カプラグを壁面コンセントから外した状態で、バッテリーバックアップを必要とするコンピュータ、モニター、その他の周辺機器をサージ保護付バックアップコンセント(停電時バックアップする)に接続します。

レーザープリンタ、ペーパーシュレツダ、複写機、室内暖房機、電気掃除機、排水ポンプなどの大型電気製品は UPS の出力コンセントに差し込まないで下さい。これらの機器の消費電力は過負荷となり UPS や接続した機器に損害を与える場合がありますので、御注意下さい。

## ⚠ 警告

接続する機器の消費電力の合計が、UPS の定格容量を超えていないことを確認して下さい。

装置の定格容量より使用容量が上回ると、過負荷状態となり、UPS 本体がシャットダウンしたり、UPS に内蔵されたリセットブレーカーが働く場合があります。

### 3 ソフトウェアのインストールをします

**\*PowerPanel® Business Edition 監視ソフトは無料ダウンロードできます。**

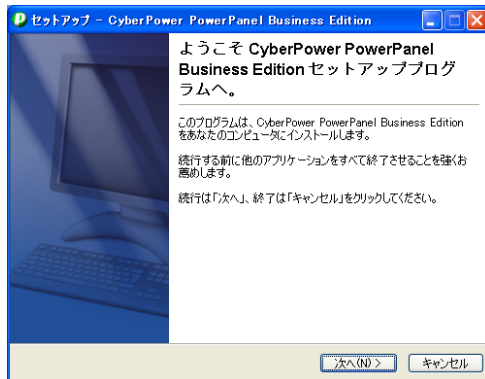
<https://www.cyberpower.com/jp/ja/software/sku1> にアクセスして下さい。

「PowerPanel® ビジネス版ソフトウェア」をインストールし、UPSとコンピュータを接続することで、電源状態のモニタリングなどを行うことができます。

「PowerPanel® ビジネス版ソフトウェア」のインストールは UPS とコンピュータを接続する前に行ってください。

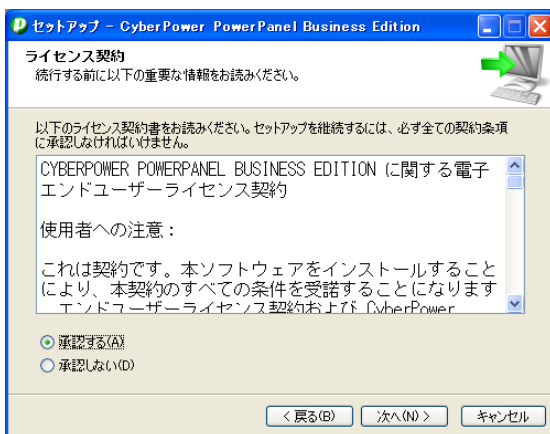
尚、説明画像は本マニュアル作成時のバージョンのものを使用しているため、ウェブダウンロードバージョンと異なる場合があります。

1. 「PowerPanel® ビジネス版ソフトウェア」をインストールして下さい。
2. インストールプログラムが自動起動してセットアップウィザードが表示されます。



セットアップウィザードが表示されたら「次へ」をクリックして進めて下さい。

3. 使用許諾契約書をよくお読み頂き、内容にご同意頂けましたら「使用許諾契約書に同意します」の先頭の○をクリックし、「次へ」をクリックして進めて下さい。



4. 使用状況に応じ、“Agent”、“Center”、“Client”のどれかを選択し、「次へ」をクリックして進めて下さい。



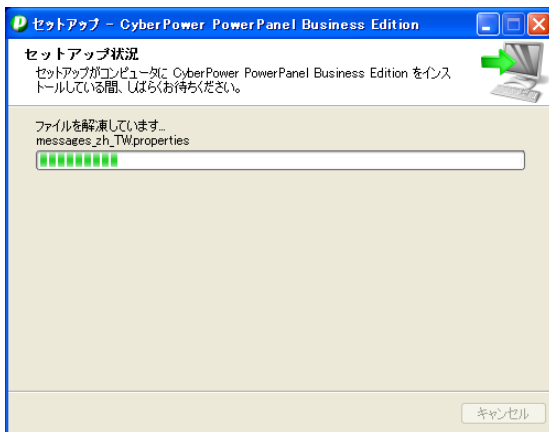
5. インストールしたいフォルダを選んで下さい。



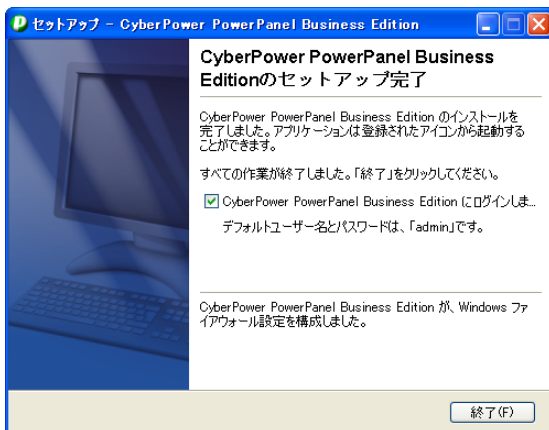
スタートメニューからショートカットの場所を選んで下さい。



6. 「インストール」をクリックするとソフトウェアのインストールが始まります。



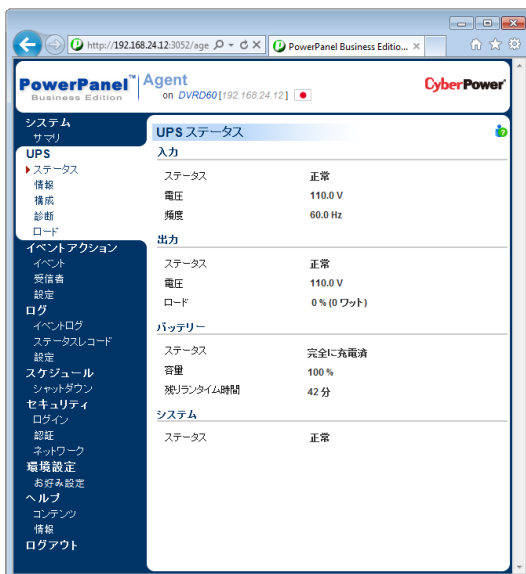
7. インストール作業が完了すると下記の画面が表示されますので、「終了」をクリックしてセットアップウィザードを終了させて下さい。



8. PowerPanelBusinessEdition を開いて、ユーザー名/パスワードを入力して下さい。



ステータスを確認して下さい。



ヘルプをクリックすると、バージョン等の情報が出ます。



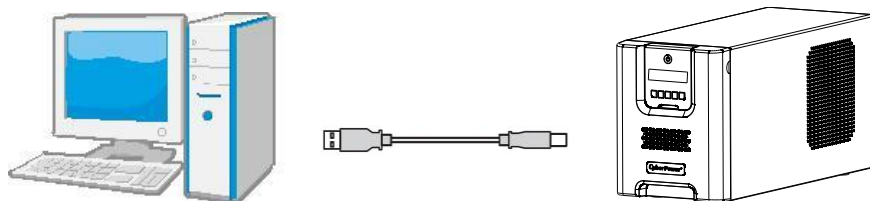
9. 「ヘルプ」をクリックしますと下記の画面が表示されます。画面中央の「オンラインヘルプをクリック」の部分をクリックしますと、オンラインヘルプが表示されます。



ソフトウェアの操作につきましてはマニュアルやオンラインヘルプをご参照下さい。

## 4 UPSとコンピュータを接続します

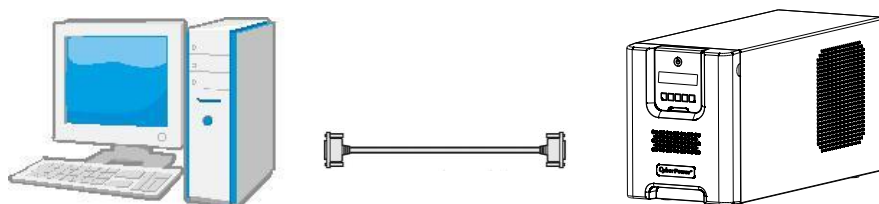
USBポートを使用してUPSとコンピュータを接続する場合は、接続を行う前にコンピュータへ「PowerPanel<sup>®</sup> ビジネス版ソフトウェアCD-ROM」をインストールして下さい。インストールが完了しましたら、UPSのUSBポートとコンピュータを付属のUSBケーブルで接続して下さい。



シリアルポートを使用してUPSとコンピュータを接続する場合は、付属のシリアル(DB-9)ケーブルをご使用下さい。

接続を行う前にコンピュータへ「PowerPanel<sup>®</sup> ビジネス版ソフトウェアCD-ROM」をインストールして下さい。

インストールが完了しましたら、UPSのシリアルポートとコンピュータをシリアル(DB-9)ケーブルで接続して下さい。



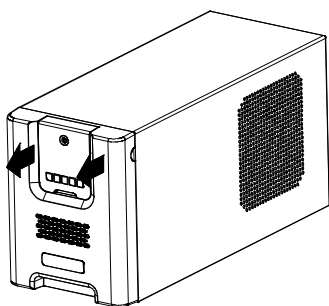


## 5 壁面マウント式 LCD モジュール

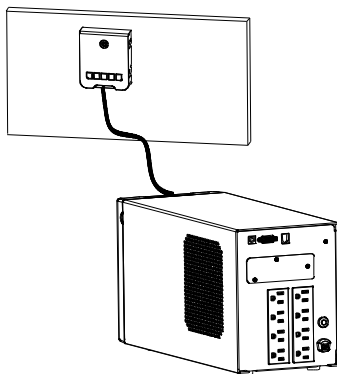
離れた場所から制御できるように、LCD モジュールは、壁面マウント式になっています。以下の指示に従って取り付けして下さい。

1. フロントパネルから LCD モジュールを取り外します。
2. LCD モジュールを壁面に吊り下げます。
3. LCD モジュールを UPS に戻す際には、LCD ワイヤーを丸めて、フロントパネルとバッテリーカバーの間の空間に入れて下さい。

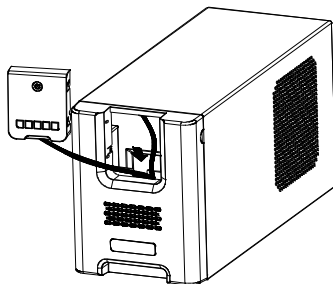
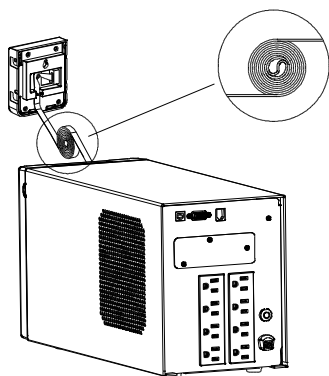
1



2

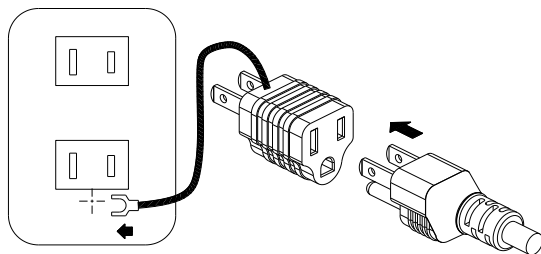


3



## 5 運転

1. UPS をアースのある 2 極 3 線式コンセント (壁面コンセント、アースなしでも OK) に接続します。壁面コンセントがヒューズまたはブレーカーにより保護されており、消費電力の大きい機器 (空調機、冷蔵庫、複写機等) が接続されていないことを確認して下さい。延長用の電源ケーブルやたこあし配線された電源に接続しないで下さい。



アースに接続します

2. UPS を起動するには電源スイッチで行って下さい。過負荷が検出されると、警報音として長いピープ音が 1 回鳴ります。この状態を解消するには、電源スイッチを押して UPS をオフにして、サージ保護付バックアップコンセント (停電時バックアップする) に接続されている機器を少なくとも 1 つ外して下さい。その後、10 秒以上待ってからブレーカーを押し下げ、電源スイッチを押して UPS をオンにして下さい。
3. バッテリーを最適な状態で使用するためには、UPS を常時壁面コンセントに接続しておいて下さい。
4. UPS を停止させる場合には UPS に接続した全ての機器の電源をオフにし、UPS の電源スイッチを押して UPS をオフにして下さい。パワーオン LED が消灯し、UPS が停止します。

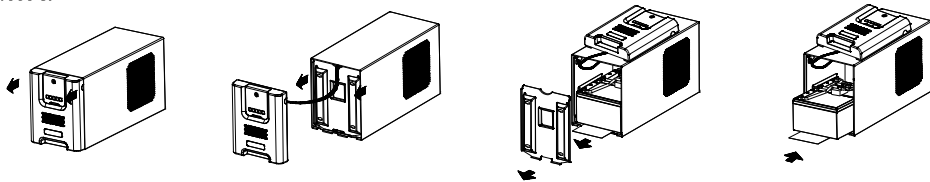
5. UPSを長期間保管する場合は、カバーを掛け、バッテリーを完全充電した状態で保管して下さい。保管期間中はバッテリーの寿命を保つために3ヶ月毎に24時間のバッテリー充電を行って下さい。

注: このUPSは、輸送中にシステムの電源がオンにならないよう、最初の1回目はAC電源に接続しないと、電源が入らない安全設計となっています。初回は必ず、入力プラグをAC電源に接続して、本体の電源をオンにして下さい。

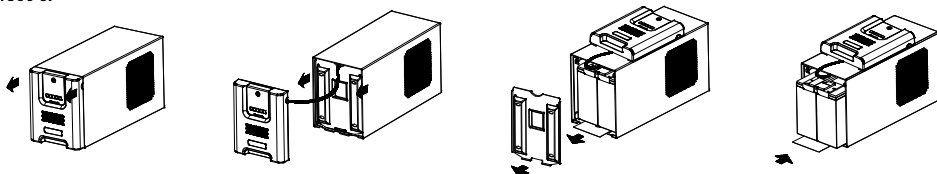
## 6 バッテリー交換

1. バッテリーの交換をする前に交換用バッテリーを用意して下さい。  
交換用のバッテリーの仕様については、後述の「仕様」の項目を確認して下さい。
2. 電源をオフにして、接続された全ての機器のプラグを抜きます。
3. UPS の電源をオフにし、AC 電源から入力プラグを抜きます。
4. UPS のフロントパネルを取り外します。
5. 丸いつまみを両方とも引き抜き、本体からバッテリー収納部カバーを完全に取り外します。
6. 既存バッテリーパックを取り出します。
7. 既存バッテリーパックからバッテリーワイヤを外します。
8. 新しいバッテリーパックのコネクターにワイヤー（赤いワイヤー1本と黒いワイヤー1本）を接続します。
9. 接続した新しいバッテリーを収納部に戻します。
10. バッテリー収納部のカバーを取り付け、所定の位置に丸いつまみを戻します。
11. フロントパネルを UPS に取り付けます。
12. バッテリーが完全に充電されるまで、UPS を 8～16 時間コンセントに接続しておきます。

PR1000 JP



PR1500 JP



## 7 故障かな？と思ったら

本装置を使用するにあたり、故障かな？と思ったら以下の項目に沿って確認を行って下さい。  
問題が改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談下さい。

1. **サージ保護付バックアップコンセント(停電時バックアップする)の電気供給が停止し、ブレーカーが飛び出た状態になっている**

原因: 過負荷によりブレーカーが働いた

対策: 電源スイッチを押して UPS をオフにして、サージ保護付バックアップコンセント (停電時バックアップする) に接続されている機器を少なくとも 1 つ外して下さい。  
その後、10 秒以上待ってからブレーカーを押し下げ、電源スイッチを押して UPS をオンにします。

2. **UPS の最大運転時間が期待時間を下回っている**

原因: バッテリーの充電が不十分

対策: 出力コンセントにつないでいる全ての機器を外し、24 時間のバッテリー充電をして下さい。

原因: バッテリーが消耗している。

対策: バッテリーの充電を行い、改善されない場合はバッテリーの交換をして下さい。  
バッテリーの交換については株式会社サイバーパワー・ジャパンの WEB サイト [www.cyberpower.com/jp](http://www.cyberpower.com/jp) よりお問い合わせ下さい。

### 3. UPS の電源がオンにならない

原因: 電源スイッチの急なオン、オフ操作による損傷を防止する設計

対策: 10 秒以上待ってから電源スイッチを押して、UPS をオンにします。

原因: UPS が正常なコンセントに接続されていない。

対策: UPS 入力プラグを電圧 100V、周波数 50Hz/60Hz コンセントに接続して下さい。

原因: バッテリーが消耗している。

対策: バッテリーの充電を行い、改善されない場合はバッテリーの交換をして下さい。

バッテリーの交換については株式会社サイバーパワー・ジャパンの WEB サイト  
[www.cyberpower.com/jp](http://www.cyberpower.com/jp) よりお問い合わせ下さい。

### 4. PowerPanel®ビジネス版ソフトウェアの全てのアイコンがグレー表示(非アクティブ状態)になっている

原因: UPS とコンピュータが接続されていない。差込口やケーブルの不良等

対策: USB ポート又はシリアルポートを使用して UPS とコンピュータを接続して下さい。

違う差込口やケーブルで試してみてください。

原因: バッテリーから電気が供給されていない。

対策: コンピュータをシャットダウンしてから、電源スイッチを押して UPS をオフにします。

その後、10 秒以上待ってから電源スイッチを押して UPS をオンにします。

これで装置をリセットできます。

## 5. **Battery Expired** の表示が出ている

原因： バッテリー交換時期が来て、バッテリー交換推奨表示が出ている

対策： バッテリーを交換し、点滅をリセットして下さい。

備考:点滅＝バッテリー使用不可ではありません。バックアップできる時間を実測し、仕様と大差がなければ交換する必要はありません。

## 6. **バッテリー交換をする必要はありませんが、Battery Expired 等の表示が出る**

原因： 前回バッテリー交換後、リセット作業を行っていない

対策： PowerPanel® Personal Edition / PowerPanel® Business Edition ソフトウェア  
又は液晶セットアップモードでリセットして下さい。推奨表示は消えます。

## 8 仕様

### 仕様

型番	PR1000 JP	PR1500 JP
容量	1000VA / 700W	1500VA / 1050W
入力電圧	100Vac	
入力周波数	50/60 Hz +/- 3 Hz (自動感知)	
バッテリー出力電圧	100Vac +/-5%	
転送時間	12ms以下	
バッテリーの出力波形	正弦波	
使用環境温度	0°C - 40°C	
使用環境相対湿度	0 - 95%(無結露)	
外形寸法 (長さ x 幅 x 高さ)	221 x 170 x 432 mm	
重量	19.8 kg	24.5 kg
バッテリータイプ(長寿命)	BPS12-12 x 2	BPS17-12 x 2
バッテリー充電時間	クイックチャージ 3 時間 (ECOチャージ 8 時間)	
バッテリー寿命	およそ 5 年	
交換用バッテリー	CyberPower Webサイトを参照して下さい	
安全規格	VCCI Class A	

### 期待動作時間一覧表 (分)

モデル	50W	100W	200W	300W	400W	500W	600W	700W	800W	900W	1000W
PR1000 JP	157	87	47	29	19	15	11	8	-	-	-
PR1500 JP	265	196	99	54	40	30	24	18	13	11	9



## 9 省エネルギー技術 GreenPower UPS™ & Active PFC 対応

### CyberPower の環境への取り組み

CyberPower は、グリーン製品（環境に配慮した製品）の開発に注力しており、事業を通じて、クライメート セーブズ コンピューティング イニシアチブ(CSCI)にメンバーとして参加、特定有害物質使用制限指令(RoHS)、廃電気電子機器指令(WEEE)製品、および ISO 14001 や IECQ QC080000 などへの準拠を含む、環境への取り組みを心掛けています。CyberPower は、環境に優しい先進的なエネルギーソリューションを提供し、環境に優しい企業として UPS 業界を主導することを御約束します。

### GreenPower UPS™テクノロジーでエネルギーコストを削減

CyberPowerは、環境に優しい製品を提供するだけでなく、消費者に最高の価値をもたらすことを目標としています。高度な省エネ設計により、運転効率を向上させ、無駄なエネルギー消費を排除します。CyberPowerのGreenPower UPS™テクノロジーを採用することで、消費者はエネルギーコストを大幅に抑えることが出来ます。



### Active PFC 対応

このCyberPower UPSシステムはアクティブ力率補正（アクティブPFC）により高効率の電源装置に対応しています。アクティブPFCは、電源供給効率を向上するために使用されます。コンピュータのUS Energy Star®プログラム要件（バージョン 5.0）では現在、全ての 100 ワット以上の電源装置に対してアクティブPFCの内蔵を義務付けています。また、80 Plus®等のプログラムはアクティブPFCによる高効率電源装置の識別のためにしばしば使用されます。

## 10 保証規定

本保証規定は株式会社サイバーパワー・ジャパンより日本国内に出荷された製品を、保証期間内の正常な使用状態において故障したと認められた場合に限り、弊社の定める方法にて無償保証対応を行うものです。

### 1 保証期間

保証期間は お買い上げ日より36ヶ月間です。

保証をお受けになる場合は弊社の発行する保証書と、製品型番、お買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシートまたは伝票等の購入履歴の証明が必要となります。

並行輸入品、中古品、インターネットオークションを含む個人間の売買や譲渡によって入手された製品は保証対象外とさせていただきます。

### 2 保証内容

保証期間内の正常な使用状態において故障したと認められた場合、弊社の定める方法にて無償保証対応を致します。

修理が難しいと判断をした場合は同製品または同等製品との交換とさせて頂く場合がございますのでご了承下さい。尚、購入後1ヵ月以内のみ新品交換とさせていただきます。

修理依頼に掛かる送料は、発送時にご依頼主様の元払い、返却時は弊社の元払いとさせていただきます。

修理預かり期間中の代替品出荷や貸し出しは出来かねます。

故障した製品の原因追及や解析等の調査は出来かねますのでご了承下さい。

### 3 保証対象

保証対象はお買い上げいただいた製品単体の保証となります。

製品に接続している機器やデータ、記録、ソフトウェア等を含むその他の製品の保証をするものではないです。

また、後述する保証対象外事項 1 項目でも該当する場合は、保証期間内であっても理由を問わず保証対象外とさせていただきます。

### 4 保証対象外事項

保証期間内であっても次の項目に 1 項目でも該当する場合は、理由を問わず保証対象外とさせていただきます。

- ・ 製品型番、お買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシートまたは伝票等の購入履歴の証明が出来ない場合
- ・ 並行輸入品、中古品、インターネットオークションを含む個人間の売買や譲渡によって入手された場合
- ・ 株式会社サイバーパワー・ジャパンより出荷された製品と確認できない場合
- ・ 説明書やマニュアル等に記載されている内容と異なる接続方法や使用方法により発生した故障や損傷の場合
- ・ 他の製品との組み合わせにより発生した相性等の不具合や故障、損傷の場合
- ・ お使いのコンピュータの設定や環境等に起因する不具合や故障、損傷の場合
- ・ 輸送、移動、設置時の落下や衝撃等による損傷があった場合
- ・ 正常な使用状態だったと判断できない消耗や損傷があった場合（完全放電後、直ちに充電せず、バッテリーが劣化した等）
- ・ 製品の仕様に適合しない機器を接続したことにより発生した故障や損傷の場合
- ・ 弊社以外での分解、改造、調整、部品交換、修理等をした場合
- ・ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災や異常電圧等による故障や損傷の場合

- ・ 製品にシリアル番号が貼付されていない場合
- ・ 購入履歴やシリアル番号等が汚損等により確認できない場合や改竄の形跡が認められる場合
- ・ 日本国外で使用した場合

## 5 免責事項

製品の運用または製品の運用不能に起因する損害(接続している他の機器の損傷、事業利益の損失・事業の中断・事業情報の損失、逸失利益やその他の金銭的損害を含む)については、弊社では一切の責任を負わないものとします。

本保証規定は予告なしに変更をすることがありますが、適用する保証規定は お買い上げ日の時点で有効な保証規定とします。

2019年2月制定

株式会社サイバーパワー・ジャパン

## 11 保証書

次のページの保証書に必要事項をご記入の上、製品型番、買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシート又は伝票等の購入履歴の証明と併せて、大切に保管して下さい。修理依頼の手順や修理についてのお問い合わせは株式会社サイバーパワー・ジャパンのWEBサイト [www.cyberpower.com/jp](http://www.cyberpower.com/jp) で御確認下さい。

# 保証書

製品型番

PR1000 JP / PR1500 JP

保証期間

36ヶ月

お名前

ご住所 〒

電話番号

FAX番号

メールアドレス

お買い上げの販売店

お買い上げ日(年月日)

シリアルナンバー

株式会社サイバーパワー・ジャパン

〒102-0071

東京都千代田区富士見 2-3-1

信幸ビル 302 号室

TEL: (03) 5357-1389

FAX: (03) 5357-1390

[www.cyberpower.com/jp](http://www.cyberpower.com/jp)

# MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

**CyberPower<sup>®</sup>**